

2016 Wako's

Super Kart Race Report

開催コース/富士スピードウェイ(静岡県)
主催/日本スーパーカート協会
開催日/7月16日(土) 天候/曇り
路面状況/ハーフウェット



SK1 吉野と黒澤晴美のトップ争い。序盤は多少、モヤが残る状況だった



SK2 優勝 77 青木は最終ラップにスリッパで抜け出ることを始めから決めていた

WAKO'S スーパーカートカップ第4戦



SK1 表彰式。優勝の吉野はこの日が自身の誕生日でもある記念すべき勝利



SK2 は奇しくもblank明け同士の一騎打ち。その勝敗は青木の手へ渡った



SK4 は桜井が圧勝。2位の常磐翔太はリアブレーキにトラブルが発生し、何とフロントブレーキのみで走りきる



レインなのかドライなのか？ スタート前に各選手を悩ませたタイヤチョイス。その正解はドライだったようだ

霧に見舞われた第4戦。とくに予選レースは完全なウェットコンディションとなり、立ちこめた霧のせいでホームストレートに設置された看板すら見えない状況だった。

決勝では雨が上がり、レコードラインもかなり回復したことで、各選手はタイヤチョイスに悩まされる。

このコンディションからセーフティカースタートが急ぎょ採用され、オープニングラップはSCが引っ張る展開に。

2周目からレーシングスピードでレーススタート。SK1では吉野義弘が尻上がりにペースを上げての圧勝。SK2は3年のblank明けとなる青木岳と1年のblankを経た遠藤知宏の一騎打ちに。最後は青木がスリッパを使って大逆転劇での今季初優勝、そして富士でも初優勝となる記念すべき勝利を手にした。

SK4は開幕戦から土つかずの桜井晋吾が危なげない走りでも4連勝目。相変わらずの無敵の強さを発揮した。